

山形県スポーツ推進計画数値目標の進捗状況

令和4年度実績

項目		後期改定計画		最新値		目標値 (R4)	評価	◇数値目標に対する評価 / ◆今後の対応
		実績	年度	実績	年度			
基本方針1 生涯を通して楽しめるスポーツ活動の推進								
成人のスポーツ実施率	週1回以上	35.2%	H28	49.9%	R4	60%	×	◇実施率は向上しているが、目標値にはまだ遠い。 ◆女性、ビジネスパーソン等対象を焦点化した事業実施を行う。
	週3回以上	16.7%	H28	23.8%	R4	30%		
総合型地域スポーツクラブが行う活動への参加者数		21,300人	H29	36,081人	R3	増加させる	◎	◇高齢者介護予防事業等の市町村からの委託事業への会員外の参加が増加している。 ◆高齢者介護予防事業を未実施のクラブに対して受託できるように働きかけていく。また、部活動の受け皿となることでクラブへの参加者及び会員を増加させるようにしていく。
子どものスポーツ実施率	平均	44.7%	H29	41.1%	R4	60%	×	◇新型コロナウイルスの影響と考えられる実施率の低下に歯止めがかかり、上昇に転じた。 ◆教員などの指導力向上を図り、体育授業での楽しい経験から、スポーツが好きな児童を増加させ、子どものスポーツ実施率向上につなげる。
	小学生男子	54.7%	H29	50.6%	R4	—		
	小学生女子	34.4%	H29	31.6%	R4	—		
スポーツや運動が「嫌い」「やや嫌い」である中学生を減らす		14.7%	H29	15.8%	R4	10%以下	×	◇目標には達していないが、体育授業の改善による成果が表れている。 ◆体力や障がいの程度に関わらず、誰でもスポーツをする楽しさや喜びを味わえる体育授業を推進する。
基本方針2 トップアスリート育成に向けた支援・強化策の確立								
オリンピック・パラリンピックでのメダリスト輩出				1 (北京2022 オリンピック)	R3	輩出	◎	◇東京2020オリンピックに5名、北京2022冬季オリンピックに6名の選手が出場し、その中から待望のメダリスト(スピードスケート競技500m銅メダル)を輩出することができた。 ◆メダリスト輩出に向けて、遠征や練習環境を整えるための支援を継続する。
国体の天皇杯順位		31位	H29	40位	R4	20位台	×	◆成年の部におけるふるさと選手の積極的活用と得点源となり得る団体種目に特化した強化、少年の部の競技団体が中心となった強化活動の推進が必要である。 ◆競技団体との更なる連携を図り、成年選手の動向を確実に把握する。少年選手の早期選抜チームの結成や一貫指導体制等、環境の充実を図る。
インターハイ入賞数	夏季	60	H29	46	R4	40以上	×	◇インターハイ入賞へ向けて、効果的かつ継続的な強化事業を実施でき、夏季は目標入賞数40を達成することができた。 ◆学校間、校種間の垣根を越えて競技全体での強化策を講じるなど、小学生から中長期的な強化策の検討などを県高体連と連携して展開する。
	冬季	26	H29	9		15以上		
基本方針3 スポーツを通じた活力ある地域社会の実現								
ホストタウン交流事業への参加者数		8,500人	H29	10,732人	R3	—	◎	◇コロナ禍であったが、オンラインなど工夫を凝らしてホストタウン交流イベント等が開催され、多くの県民が参加した。 ◆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の終了により、ホストタウン交流は一旦終了となるが、交流によって培われた絆を今後に活かせるよう、各ホストタウンでの継続した取組み等について、情報共有していく。